



Dagik Earth



<http://earth.dagik.org/>



Dagik Earth

ダジック・アースは地球や惑星についての科学を楽しんでもらうために、学校や科学館や家庭で、地球や惑星を立体的に表示するプロジェクトです。

球形のスクリーンに、PCプロジェクターで地球や惑星を投影します。通常のパソコンとPCプロジェクターを使うので、手軽に立体的な地球と惑星の表示が出来るのが特徴です。ダジック・アースのソフトは、教育や科学に関連する活動に無償でご利用頂けます。

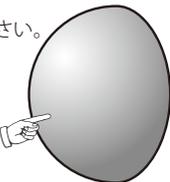
ダジック・アースの簡単な始め方

Step 1. ダジック・アースのソフト (WindowsとMacに対応) を<http://dagik.org/DE/menu/> か <http://earth.dagik.org/download/> からダウンロードして下さい。ユーザー登録された方はDVDがご利用頂けます。



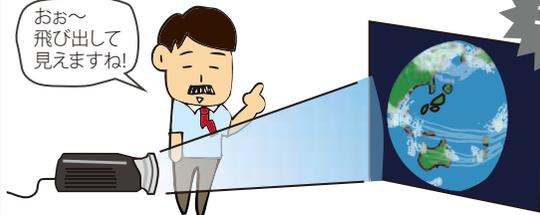
Step 2. 球形/半球形のスクリーンを用意して下さい。白くて丸いものなら何でも良いです。<http://earth.dagik.org/quickstart/> 等をご参照下さい。

白い半球



Step 3. ソフトを実行し、表示される地球画像をPCプロジェクターを使って、スクリーンの上に投影して下さい。想像以上の立体感をお楽しみ下さい。

おお～飛び出して見えますね!



デジタル
立体地球儀の
完成!

Web版 (オンライン)
ダジック・アース

<http://dagik.org/dow/>



ソフトをダウンロードしなくても、Webブラウザ(WebGL対応: Firefox, Safari等)でダジック・アースが使えます。一部機能に制限があります。

実施例

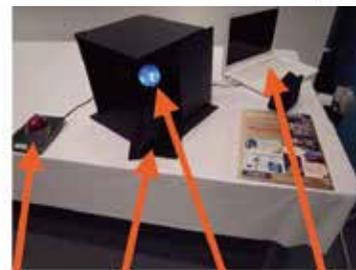


半球スクリーン (風船式)

パソコン
PCプロジェクター



PCプロジェクター
ゲームコントローラ
パソコン
球形スクリーン
(2m風船式)



トラックボール
小型LEDプロジェクター
パソコン
発泡スチロール球 (8cm)



内部にPCプロジェクターとパソコン
半透明アクリルドーム(77cm)

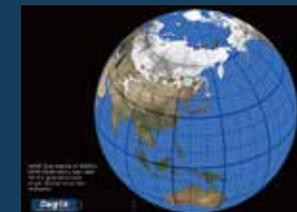
ダジック・アース プログラム例

科学館やイベントでの展示：地球の昼と夜や、季節による変化、月の満ち欠け、木星や火星等の惑星の様子を映して、地球、月、惑星、太陽の動きや関係を解説

小中高校での授業：気象衛星の雲画像などを使って、偏西風や貿易風などによる雲の動きや、台風・ハリケーンの発生と経路を学習

コンテンツの作成

ダジック・アースのコンテンツは正距円筒図法で描かれた JPEG 形式の地図を用いています。地図の変更は簡単で、独自のコンテンツ作りも容易です。



これまでの実施場所例

国立科学博物館、静岡科学館・く・る、白瀬南極探検隊記念館、宇宙航空研究開発機構、国立極地研究所、北海道立教育研究所附属理科教育センター、埼玉県立総合教育センター、宮崎市立榎小学校、千葉県流山市立東深井中学校、沖縄県立豊見城南高校、など

ユーザー登録

ダジック・アースは平成 25-27 年度の間、文部科学省からの援助を受け、開発と実施を行ないます。開発されるダジック・アースの教材 (DVD、マニュアル等) をご協力して下さい。使って頂き、ご意見を開発に反映して行きます。ご協力くださる方は：<http://earth.dagik.org/registration.html> からユーザー登録をお願いします。

機材貸し出し

学校、科学館、研究機関などでの教育目的の使用のためにダジック・アースの機材の貸し出しを行なっています。詳しくは <http://earth.dagik.org/rental/> をご参照下さい。

問い合わせ先:
info@dagik.org



ダジック・アースは、文部科学省の宇宙科学技術推進調整委託費 (参画機関: 京都大学、情報通信研究機構、静岡大学、宇宙航空研究開発機構、平成25-27年度) による援助を受けて将来の宇宙地球科学・宇宙開発に携わる人材育成を目的に開発されています。